

令和6年度

秋田県学習状況調査

能代市分析結果

I 実施の状況

II 教科に関する調査結果

1 概要について

2 各学年の結果について

(1) 小学校4年生平均通過率

(2) 小学校5年生平均通過率

(3) 小学校6年生平均通過率

(4) 中学校1年生平均通過率

(5) 中学校2年生平均通過率

(6) まとめ

III 質問紙調査結果



能代市教育委員会

I 実施の状況

1 実施趣旨

○学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査、本調査及び高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

2 実施学年

小学校4年生～中学校2年生

3 調査内容

- ①教科に関する調査
- ②質問紙調査



4 実施教科

小学校4年生 : 国語、算数、理科
小学校5、6年生 : 国語、社会、算数、理科
中学校1、2年生 : 国語、社会、数学、理科、英語

5 実施期日

小学校：令和6年12月4日（水）
中学校：令和6年12月5日（木）

6 調査を実施した学校・児童生徒数

対象学年	学校数（実施率）	実施児童生徒数
小学校4年生	7校（100%）	237人
小学校5年生	7校（100%）	249人
小学校6年生	7校（100%）	287人
中学校1年生	6校（100%）	258人
中学校2年生	6校（100%）	327人

Ⅱ 教科に関する調査結果

Ⅰ 概要について

＜小学校＞ たいへん良好な状況です

(1) 県平均を上回った教科

4年生 国語、算数、理科

5年生 国語、社会、算数、理科

6年生 国語、社会、算数、理科

※各学年で実施した全ての教科において、県平均を上回っています。

☆県平均を5ポイント以上、上回った教科

5年生 算数、理科

6年生 社会、算数

(2) 昨年度との比較から

算数、理科のポイントが昨年度より伸びています。また、全ての教科で県平均を上回っており、たいへん良好な状況と言えます。

＜中学校＞ 教科によっては課題が見られます

(1) 県平均を上回った教科

1年生 国語、社会、数学、英語

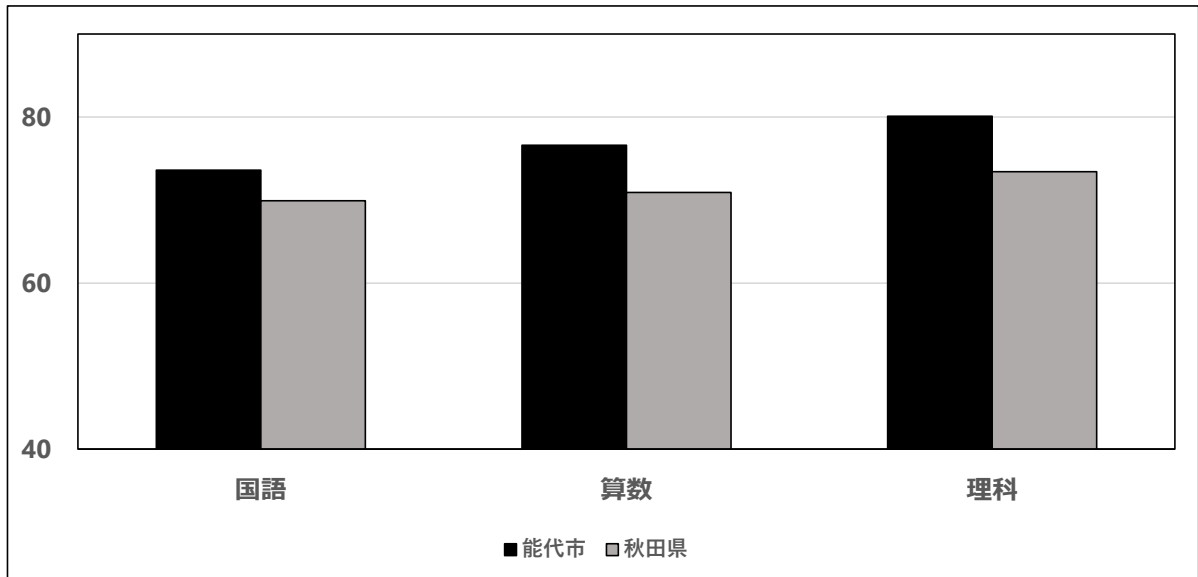
2年生 社会、理科、英語

(2) 昨年度との比較から

県平均をわずかながら下回る教科があります。中1では理科、中2では国語と数学が県平均を下回っており、課題を明らかにして、授業改善を図る必要があります。

2 各学年の結果について

(1) 小学校4年生平均通過率



各教科ともたいへん良好な状況です

○全ての教科が県平均を上回っています。算数と理科は5ポイント以上、上回っています。

<国語> 12問中、11問で上回っています。

<算数> 18問中、17問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

(2) 1ー(分数)の計算

(7) 単位の関係

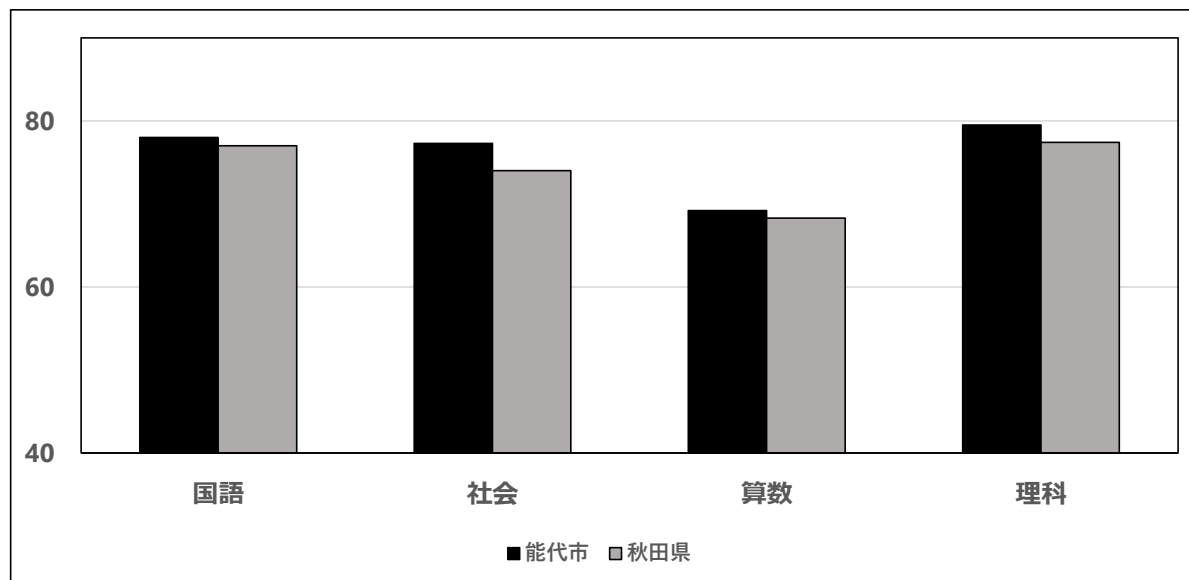
(16) 除法の筆算における商の立て方

<理科> 12問中全ての問題で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

(11) 方位磁針の使い方

(2) 小学校5年生平均通過率



各教科ともたいへん良好な状況です

○全ての教科が県平均を上回っています。

<国語> 15問中、9問で上回っています。

★県平均を5ポイント以上、下回った問題

(3) 漢字を書く(徒歩)問題

<社会> 18問中、15問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

(4) 身近な地域や市の様子

(16) 我が国の農業の特色

<算数> 18問中、12問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

(18) 直方体の体積の求め方

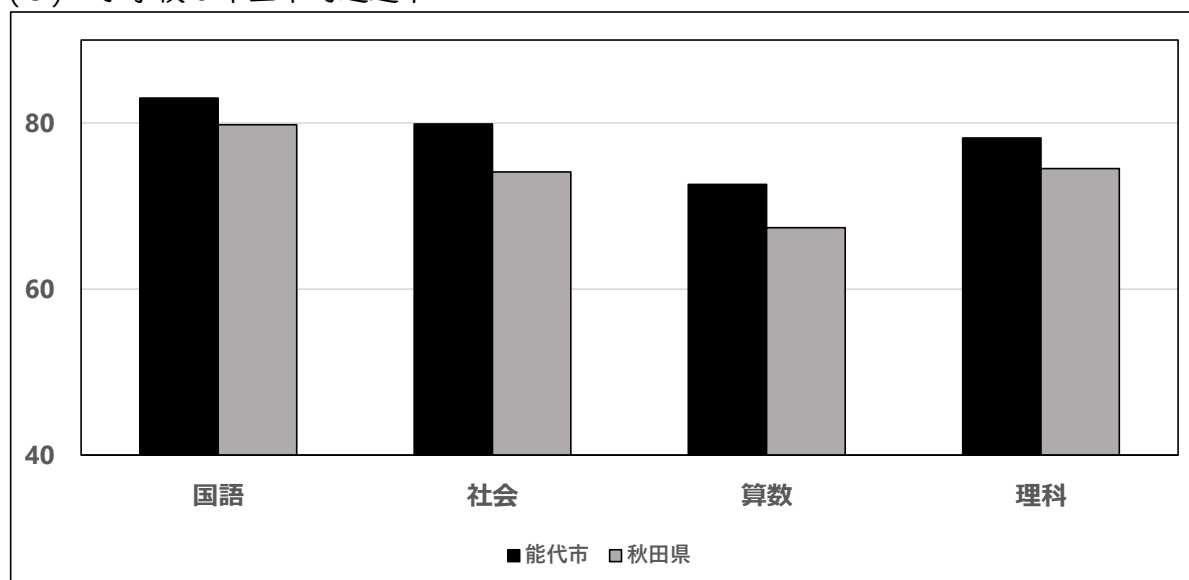
★県平均を5ポイント以上、下回った問題

(2) (整数)÷(小数)の計算

(7) 比例の関係

<理科> 18問中、15問で上回っています。

(3) 小学校6年生平均通過率



各教科ともたいへん良好な状況です

○全ての教科が県平均を上回っています。国語、社会、算数は5ポイント以上、上回っています。

<国語> 18問中、15問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

(6) 漢字の部首

<社会> 18問中、16問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

(5) 我が国の工業の特色

(11) 国民主権

(16) 大和政権の広がり

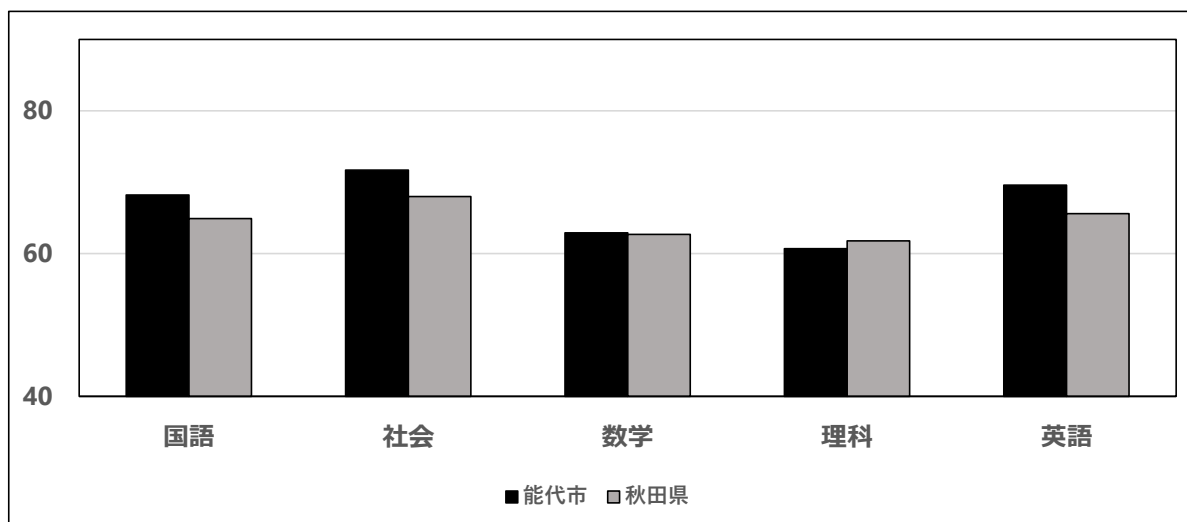
<算数> 18問中、16問で上回っています。

(17) ひし形の面積

(18) 必要な情報の読み取りと説明

<理科> 18問中、17問で上回っています。

(4) 中学校1年生平均通過率



教科によっては課題が見られます

○国語、社会、数学、英語の4教科で県平均を上回っています。

<国語> 18問中、15問で上回っています。

- ☆県平均を10ポイント以上、上回った問題
 - (17) 文章を基に自分の考えをまとめる問題
- ★県平均を5ポイント以上、下回った問題
 - (4) 漢字を書く(預ける)問題

<社会> 18問中、11問で上回っています。

- ☆県平均を10ポイント以上、上回った問題
 - (2) 室町時代の文化の特色
 - (12) 乾燥帯に暮らす人々の生活の工夫
- ★県平均を5ポイント以上、下回った問題
 - (3) 対蹠点の位置

<数学> 18問中、11問で上回っています。

- ★県平均を5ポイント以上、下回った問題
 - (3) x の係数に小数を含んだ1次方程式 (7) 縮図の意味
 - (8) 整数 (17) 起こりうる場合の数

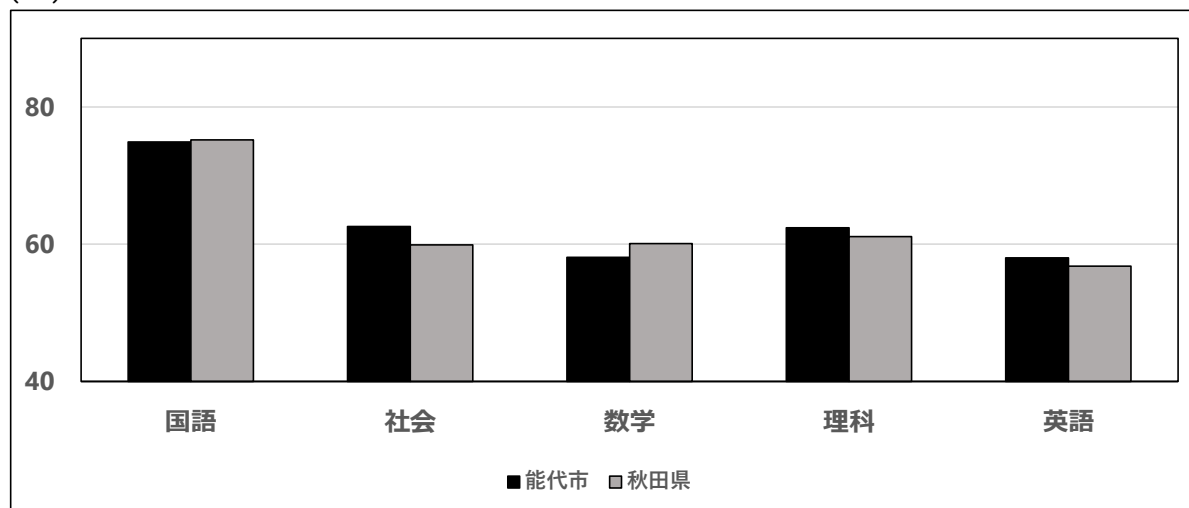
<理科> 18問中、5問で上回っています。

- ★県平均を5ポイント以上、下回った問題
 - (5) 地層の特徴 (15) 被子植物の特徴

<英語> 18問中、15問で上回っています。

- ☆県平均を10ポイント以上、上回った問題
 - (5) 質問の内容(通学手段)に対する適切な応答
 - (18) メール文の内容を踏まえた英文の作成

(5) 中学校2年生平均通過率



教科によっては課題が見られます

○社会、理科、英語で県平均を上回っています。

<国語> 18問中、9問で上回っています。

★県平均を5ポイント以上、下回った問題

(6) 漢字を書く(専属) (12) 歴史的仮名遣い

<社会> 18問中、11問で上回っています。

☆県平均を10ポイント以上、上回った問題

(4) EU統合がもたらす変化
(13) 古代の文化と東アジアとの関わり

<数学> 18問中、5問で上回っています。

★県平均を5ポイント以上、下回った問題

(1) 一次式の計算 (4) 連続する二つの偶数
(6) 反比例の式

<理科> 18問中、11問で上回っています。

★県平均を5ポイント以上、下回った問題

(13) 細胞内の光合成を行う部分
(14) だ液の働きに関する実験の方法
(16) 横隔膜

<英語> 18問中、10問で上回っています。

(6) まとめ

★県平均を5ポイント以上下回った問題

○国語	小5年	(3)	漢字を書く(徒歩)
	中1年	(4)	漢字を書く(預ける)
	中2年	(6)	漢字を書く(専属)
		(12)	歴史的仮名遣い
○社会	中1年	(10)	対蹠点の位置
○算数・数学	小5年	(2)	(整数)÷(小数)の計算
		(7)	比例の関係
	中1年	(3)	Xの係数に小数を含んだ1次方程式
		(7)	縮図の意味
		(8)	整数
		(17)	起こり得る場合の数
	中2年	(1)	一次式の計算
		(4)	連続する二つの偶数
		(6)	反比例の式
○理科	中1年	(5)	地層の特徴
		(15)	被子植物の特徴
	中2年	(13)	細胞内の光合成を行う部分
		(14)	だ液の働きに関する実験の方法
		(16)	横隔膜



対策

令和6年度の問題で県平均を5ポイント以上下回った問題は19問で、昨年度よりも12問増えています。

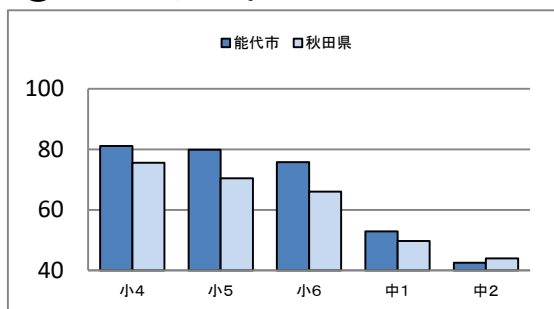
今年度の調査では、国語の漢字を書く問題、算数・数学の計算問題について、複数の学年で県平均を下回っており、課題が見られました。また、小学校5年生の算数(7)、中学2年生の数学(1)は県教委が示す「学習状況における課題等の改善に資する問題」に分類されています。

各学校においても、児童生徒の課題を明らかにして、今年度のうちに回復に向けた指導を行い、確実な理解に努めてまいります。

Ⅲ－Ⅰ 質問紙調査結果（学習全般について）

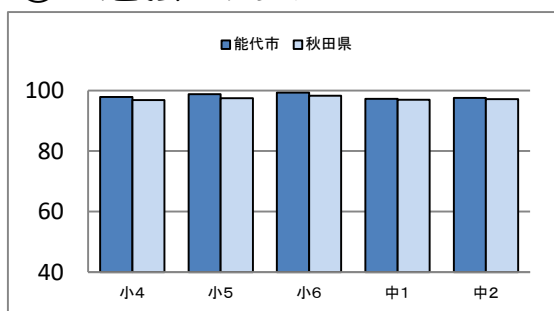
※グラフは、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合を示しています。

① 勉強が好きだ



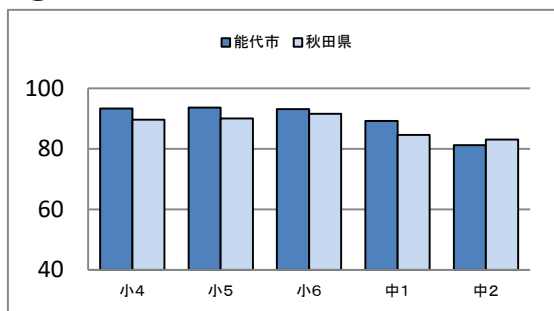
県平均を下回る学年はあるものの、小4～小6までは県平均を5ポイント以上、上回っています。各学校では児童生徒の問いを生かしながら課題を設定し、「分かった」「できた」を実感できる授業づくりを進めています。今後も児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりに努めてまいります。

② 勉強は大切だ



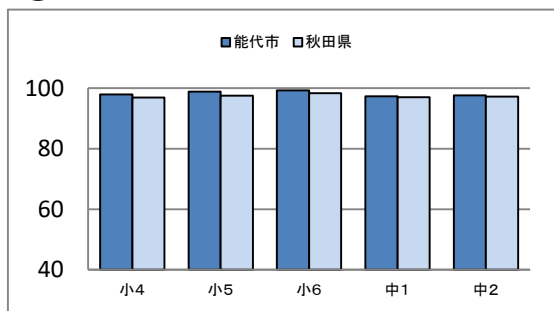
全ての学年で95%以上となっており、どの学年も100%に近い数値です。各学校のキャリア教育と学習の関連付けが図られ、学ぶことの大切さを児童生徒が理解してしている様子がうかがえます。学習することは将来の自分につながっていると実感させられる取組を今後も継続してまいります。

③ 学校の勉強がよくわかる



県平均を下回る学年はあるものの、ほとんどの学年で平均が90%に近い数値となっています。各学校では、基本的な学力の定着を図るために児童生徒一人一人の学習状況を見取りながら授業を進めています。児童生徒が「分かった」「できた」を実感できるよう、さらなる授業改善に取り組んでまいります。

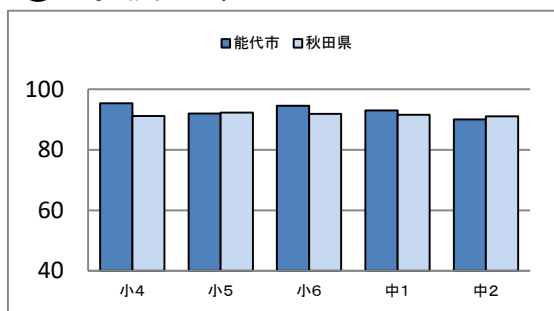
④ ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい



全ての学年で95%以上となっています。各学校では、学習内容を日常生活や社会の事象と関連させるとともに、学習を通じて身に付けられる資質・能力を意識付ける取組をしています。学校での学びと自分自身の生活や社会が結び付いていると実感している様子がうかがえます。

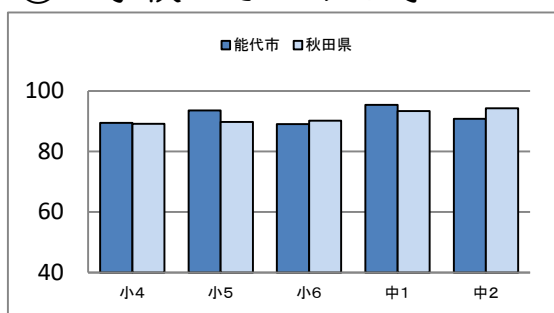
Ⅲ－２ 質問紙調査結果（学校生活について）

① 学校が楽しい



昨年度と比べると、ほぼ全ての学年で数値が上がっています。各学校では「安全・安心な居場所づくり」を掲げた取組が積極的に行われ、学ぶことが楽しいと感じられる授業の展開とともに、友達や地域の方々との交流の場の充実を図っています。各学校における日々の教育活動が充実していることがうかがえます。

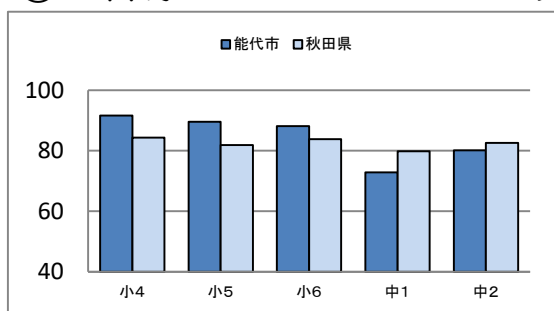
② 学校のきまりを守っている



県平均を下回っている学年はあるものの、全ての学年が90%となっています。各学校では、学校生活を送るためのきまりを、児童生徒自身が見直したり、新たに考えたりする場を設定しています。児童生徒主体の取組が、高い規範意識につながっている様子がうかがえます。

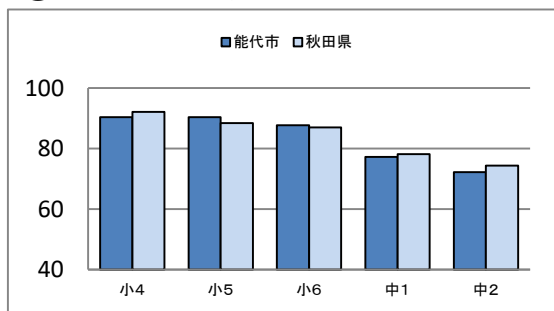
Ⅲ－３ 質問紙調査結果(ふるさと・キャリア教育について)

① 自分にはよいところがあると思う



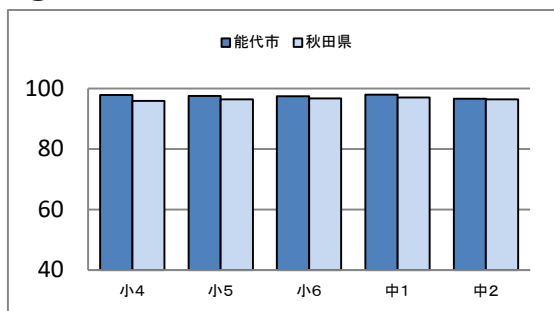
小4～小6までの学年で昨年度より高くなり、県平均を上回り、90%近い数値となっています。各学校では児童生徒一人一人のよさを伸ばすための取組が積極的に行われており、自己肯定感・有用感を自覚できた成果であると考えられます。今後も、自分のよさに気付く機会の充実を図ってまいります。

② 将来の夢や目標をもっている



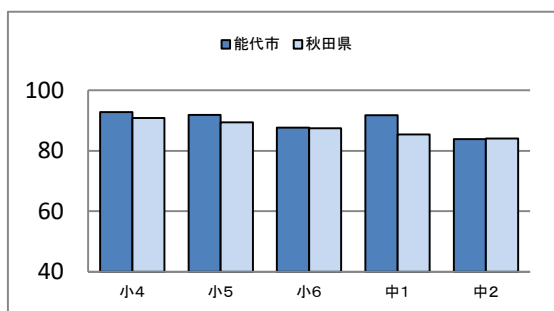
県平均を下回っている学年はあるものの、小4～小6ではいずれも90%近い数値となっています。各学校では、年齢や発達の段階を踏まえて、働くことの意義や職業観の醸成、児童生徒一人一人のキャリア発達に関する指導を行っています。職場見学や職場体験、ガイダンス等の進路指導を、継続して行ってまいります。

③ 人の役に立つ人間になりたいと思う



全ての学年が95%以上となっています。各学校では、多様な人と関わる活動が重視されており、学校内だけでなく、様々な年齢や立場の人と交流し、地域とつながりながら、社会参画意識の育成を目指しています。各学校で、社会の一員であることを実感できる活動が行われていることがうかがえます。

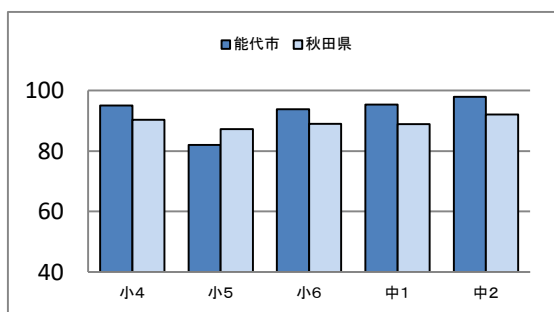
④ 地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う



県平均を下回っている学年があるものの、全ての学年で90%に近い数値となっています。各学校では地域を支える気概をもつ人材の育成を目指して、ふるさと・キャリア教育の充実が図られています。今後も、地域の人の協力を得ながら、地域のよさに気付くことができる取組を継続してまいります。

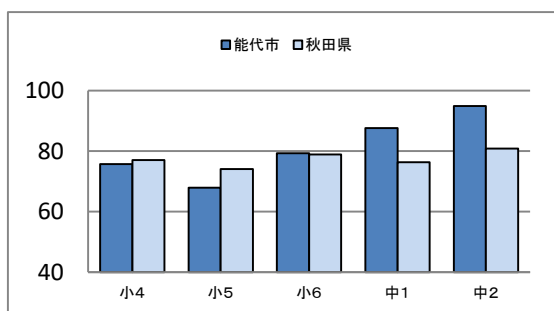
Ⅲ－４ 質問紙調査結果（授業について）

① ふだんの授業では、週に1回以上ICT機器を使用している



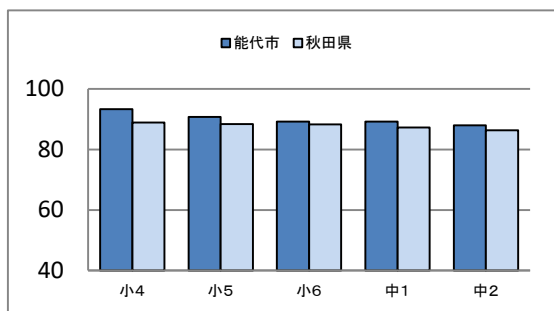
ほぼ全ての学年で県平均を上回っていますが、昨年度に比べると、小4、小5、中1で数値が下がっています。タブレット端末導入から4年目に入り、児童生徒にとって「文房具」として定着してきました。タブレット端末をはじめとしたICT機器を、秋田の探究型授業に効果的に活用する手立てについて今後も模索し、より充実した活用を図ってまいります。

② 学校で、週に1回以上ICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している



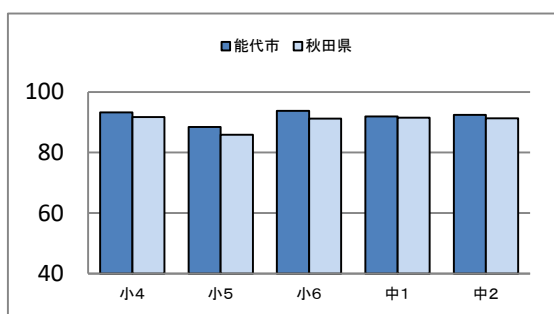
中1、中2で学年で県平均を大きく上回っています。中学校では、自分で考えたことやまとめたことをタブレット端末に端的にまとめ、画面を提示しながら友達に説明する様子が多く見られます。友達の考えと比較したり、統合したりするために、ICTの活用が効果的に図られていることがうかがえます。

③ ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う



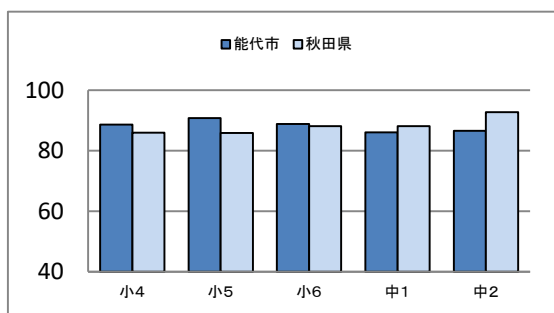
全ての学年が90%近い数値となっており、県平均を上回っています。児童生徒の主体的な授業を展開するため、各学校で、児童生徒の問いを引き出し、学習課題を設定するなどの取組が継続して行われています。目的をもって授業に臨むことは、学習内容の確実な定着にもつながります。

④ ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う



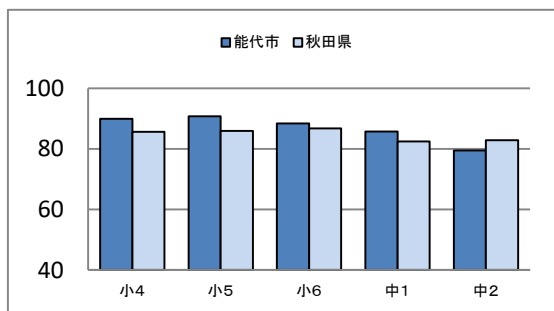
全ての学年で県平均を上回り、90%近い数値となっています。各学校で児童生徒の問いを生かした学習課題が設定されていることが意欲的な姿や主体的な学びにつながっていると考えられます。友達との話し合い活動は、多様な考えに触れて学びを深めるだけでなく、人間関係づくりにもつながっています。

⑤ ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う



小4、小5、中1で、昨年度より数値が上がっています。各学校で、何について話し合うのか、何のために話し合うのか等についてを明確にし、焦点化した話し合いが行われていることがうかがえます。学びを深める教師のコーディネート、今後も大切にしていきたいと思います。

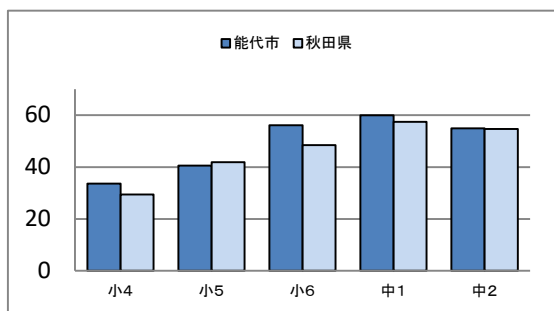
⑥ 授業では、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う



ほぼ全ての学年で県平均を上回っています。各学校では、児童生徒が学習内容を自分事にし、社会とのつながりを実感したりするために振り返りを行っています。振り返りの内容を受け、これまでの学習とのつながりを大切にした授業づくりが行われている様子がうかがえます。

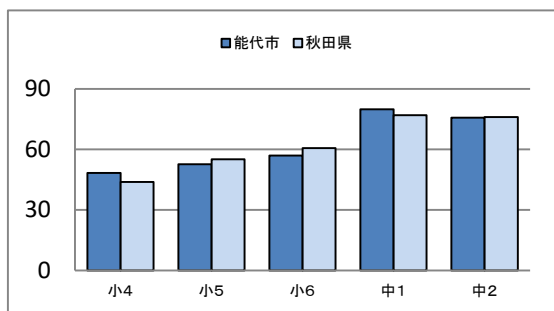
Ⅲ－５ 質問紙調査結果（家庭学習について）

① 学校がある日（平日）、授業以外で１時間以上勉強する



ほぼ全ての学年で県平均を上回りました。昨年度、中2は県平均を大きく下回っていましたが、今年度は県平均並に数値が上がりました。毎日の地道な学習が基礎・基本の定着につながります。タブレット端末を使ったAIドリルを家庭学習に積極的に取り入れるなどしながら学習の習慣化を図ってまいります。

② 学校がない日（休日）、１時間以上勉強する



全ての学年で昨年度の数値を下回りました。小5、小6、中2では県平均よりも下回っています。学年の発達段階や個々の特性に合わせた家庭学習の仕方を指導するだけでなく、児童生徒自身が学ぶことの大切さや必要性を実感できる機会を設定するなどして、家庭学習の充実を推進してまいります。